

## 中央公民館だより



8/23 第1回生涯学習体験ひろば(和紙ちぎり絵作り)

## 生涯学習の推進と公民館活動

魚沼市教育長 松原 道子



魚沼市は平成十九年三月生涯学習推進計画を策定し、市民の皆さんがだれでもいつでも楽しく有意義な学習ができるような仕組みを整えました。いうまでもなく魚沼市のそれぞれの地域には半世紀以上にわたって公民館活動が行われ、公民館は住民から親しまれ、学びの館として存在感を持ってきました。

しかし、合併後、魚沼市としてのまとまりができてくる中で公民館がどのような機能と役割をはたすべきなのかということも改めて問われてきました。

魚沼市の生涯学習推進会議、同社会教育委員会、公民館運営審議会では、これらの問いに対して公民館の新しい体制について、二年間にわたって研究協議を重ねました。そして、これまでの公民館活動の一層の活性化と住民ニーズに答えられる事業の展開をはかるための組織・機構のモデルを提言いただきました。これを受けて今年四月より中央公民館と地区公民館に専任の館長と公民館主事が設置され、地域住民参加のなかで様々な事業が展開されております。

公民館活動が地域に定着すれば、地域文化の振興とまちづくりを推進するうえで、新しい魚沼文化の創造とコミュニティづくりに大きく貢献することになるのではないのでしょうか。公民館の活動は地域の皆さんの支えと参加なしでは成立しません。

市民の自発的な学習活動を支援しつつ、公民館は地域社会に潜む様々な生活上の課題についても住民とともに学びつづけ、課題解決の糸口を見つけ出す場所でありたいものと考えております。

## 生涯学習と

### これからの公民館活動

#### 学び

公民館は、地域の学びの館として半世紀を越える歴史をさざんできました。魚沼市においても例外ではありません。魚沼市は、これまでの地区公民館の実績と成果のうえに立って、これを全市的な観点から点検と見直しを行い、四月一日より新体制による公民館活動を展開し、新しいシステムづくりをめざしております。

#### つなぐ

公民館は、市民が生涯学習をすすめるうえでの中核的な施設であるとの認識のもと、老若男女が集い、学び、交流を深め、その中で自己実現をはかり、それが地域文化の振興と新しい地域社会の創造へと展開できればと考えております。今年度の公民館活動のスタートは、高齢者教室からの展開となりました。各館の高齢者大生も多くの方々にご参加をいただき、熱心に学ぶ姿に接し心を打たれました。

#### つづける

学習のスタイルは個人学習や集団学習・実習を取り入れた学習、野外での交流と、その形態は様々ですが、公民館での学習は、集団学習、話し合い学習が主流となっております。趣味を豊かにすることから教養を高めるもの、地域社会の参加がボランティア活動へと方向づけられるものなどが見られますが、これらの学習活動がその地域の中で生まれ、その結果が地域で生かされていくことに大きな意味があるように感じております。

#### 創る

市民のみなさんの生活の中における様々な課題や地域課題についての解決にあたっては学習が必要となりますが、これらの課題解決をめざした学習も必要なことと思われれます。地域社会の底力は、学習が個人から集団学習へさらに実践活動へとつながることによって形成されるように思います。また、この力をつちかう地区公民館の活動は、ますます必要度を増していると思えます。この公民館だよりも市民の皆様様の様々な声がここに届けられ、これが学びと交流の中で高められ、公民館活動がより市民のみなさま方の身近なものになることの一助となればと思っております。

### 地区公民館の職員体制・連絡先

公民館名	館長	公民館主事	電話番号	FAX 番号
堀之内公民館	星野 修美	津端 隆・森山 玲子	794-6026	794-4210
小出公民館	谷内 国昭	角屋 宣子	792-5336	792-5336
小出北部公民館	田中 恵美子	櫻井 奈津子		
伊米ヶ崎公民館	塩川 恒男	田辺 澄雄	792-0082	792-0082
湯之谷公民館	金井 昭市	桜井 永子	792-0530	792-0530
広神公民館	松田 光正	星野 京子	799-3227	799-2417
守門公民館	横山 美智子	平井 裕美	797-2261	798-3022
入広瀬公民館	佐藤 利昭	佐藤 小百合	796-2311	796-2767

## 古い皮袋に新しい酒を

魚沼市中央公民館長 星野 修美



魚沼市中央公民館だより第一号をお届けいたします。

魚沼市生涯学習の歴史を鳥瞰しますと大正十一年（昭和二年）に実施された魚沼自由大学や八海自由大学の輝かしい実績に加えて戦後各地において婦人会や青年団を背景に展開された婦人学級や青年学級の存在を忘れることはできません。

前者は広域的に進められた講座であり、後者は話し合い学習を中心として地域に定着した学級であります。このような講座と学級が車の両輪となって学習を形作りこれが公民館活動の中核を担ってまいりました。

公民館が魚沼の地に生まれて六十年たちました。地域社会における生涯学習の拠点施設として、今日の時代に対応した新しい活動が必要ではないか、との声も多くの住民や識者の方々から寄せられているところであります。このことは魚沼の歴史と伝統を否定することではなく、むしろこれを生かした事業展開が求められているように思われてなりません。

地域文化の振興とコミュニティづくりが本市の重要施策として位置づけられております。公民館もこの方針に沿って新しい役割を担わなければならないものと考えております。幸い今日では多くの自主団体やグループの活動が大きくなるとなると地域に根を張りつつあります。中央公民館としてもこれらのエネルギーを支えられ、地区公民館と一体となって、市民の市民による市民のための諸活動を進めてまいりたいと考えております。

市民の皆さんの一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

## 小出 公民館の活動計画

小出公民館はどこに……実は北部公民館に同居

小出公民館は、以前と同様小出庁舎のところにあり、思っている方々も多いようです。

新しい公民館組織について検討を加えた結果、この場所では施設的にも設備的にも様々な問題をかかえており、北部公民館において暫定的ではありますが活動することがふさわしいのではないかと結論に達しました。

北部公民館においては、従来からの活動に加えて小出公民館長と主事が配置され、新しい公民館活動を進めております。コミュニティ活動のサポートと共に新規の事業も地域の皆様方の要望に応じて取り組んでまいりますのでご支援、ご協力下さいますようお願いいたします。

今後の活動計画は……「**荘八を語る講座**」開設

雪国魚沼市（旧小出町）が生んだ自称大衆作家・山岡荘八をとりあげ、「**荘八を語る講座**」の開設を計画中です。昨年、立ち上げた「**山岡荘八顕彰会**」から心強いご支援をいただいでスタートしたいと考えております。欲張らず一歩一歩進められたらと思っております。

地域あつての公民館を願い、地域コミュニティと公民館との連携はどうあったらいいかについても、よりよき方向を見出していかれたらと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

## 湯之谷 公民館の活動計画

今年の四月から、湯之谷中学校に隣接する世代間交流施設に、湯之谷公民館が新しく開館しました。しかし、公民館専用ではなく湯之谷中学校との共用です。

湯之谷公民館は今まで、長寿大学など、どちらかといえば高齢者対象の講座が多い傾向でした。これを反省し、今年度から幼児とのお母さん方の集える「わんわん広場」や、小学生が親子で楽しめる「工作教室」そして、小学生と父母または祖父母が一緒になって、銀山平、奥只見電力館や地下発電所を見学し、「夏休みの思い出づくり講座」を開催しました。秋には小学生対象にニュースポーツ体験や親子登山なども予定しております。もちろん、長寿大学の中でも人気の高いマレットゴルフ大会は秋の恒例行事化していますので、楽しみにしててください。

このように、幼児から小学生、子育て世代の親から高齢者まで幅広い年齢層をしっかりと視野にいった活動を推進していくつもりです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 広神 公民館の活動計画

広神公民館も、今年から新しい体制で、再スタートしました。一から出直す覚悟で取り組んでいます。「ふるさと講座」と「公民館だより」の発行を軸に、サポート委員（企画委員）と連携をとりながら、活動を進めています。

### 目標

学びから 地域づくりを  
学びから ふれあいを

### ふるさと講座

\*県民カレッジと連携

- ・ガーデニング (六～九月 ⑤回)
- ・陶芸 (六～十二月 ⑬回)
- ・絵手紙 (六～十二月 ⑩回)
- ・茶道 (六～十一月 ⑩回)

\*各教室とも、自主的にやっています

\*修了証交付予定

寄っていきがんに・・・  
寄っていきってくらっしやい!



# 守門 公民館の活動計画

……はじめの一步は、地元を知ること。  
再発見するじゅ……

四月より新しい体制でスタートした公民館ですが、初年度は様々な視点より公民館活動を見直すことから始めてまいりました。まず、今年度は、従来から行われていた高麗者教室に重点を置き、再考させて頂きました。

第一には永い間暮らしている魚沼の文化財や歴史・自然をより正確に知っていただくための講演や課外学習の設定です。魚沼市の宝物発見」と表題し、昨年の講演に続き浅草山麓エコミュージアムでの現地研修を行いました。雨の中での研修でしたが、日頃身近にも見なれている植物等を再発見・再学習して頂き、好評のうちを終了いたしました。最終会では地元の宝物である目黒邸のガイドの方からの研修を含め、郷土をもう一度確認してもらえよう計画しております。

第二は講演内容をより多くの方から参加して頂けるようお知らせ版で周知しております。現在行われている「古文書教室」ではこの地域の歴史を垣間見ることができ、現地研修も計画しています。また、この他に子どもたちから年輩の方まで参加できる事業も開催予定としております。現在、守門公民館は、開発センター内に拠点を置いていますので、是非気軽に立ち寄り下さい。地域の方々のご意見やご希望等を取り入れながら、より身近な公民館となるようシステムづくりをめざして行くつもりです。



# 入広瀬 公民館の活動計画

平成二十一年四月より、新体制のもと公民館活動がスタートしました。

入広瀬公民館では、館長・公民館主事の二人とも公民館の運営が初心者なので、以前から活動している講座を継続という形で計画し、実施しています。中でも子どもを対象とした講座は、子どもたちが大勢参加してくれ、うれしく思っています。地域の人の技術や経験の伝承により、子どもたちの豊かな心を育み、人と人とのふれあいやつながりが生まれていると思います。今後、地域の皆さんの出会い・ふれあいの場、地域に親しまれる公民館になれるよう努力していきたいと思えます。

## 子ども陶芸教室（終了）

- ・ 7、8月に4日間開催
- ・ 講師 佐藤昭子様、平瀬幸一様
- ・ 茶碗とお皿をつくりました。
- ・ 19人参加



## 子ども茶道教室

- ・ 10月開催予定
- ・ 講師 平瀬美保子様
- ・ お茶を「正しく、楽しく」飲む基礎作法の稽古です。
- ・ おいしいお茶とお菓子を用意します。



子ども陶芸教室

# 地区公民館の活動報告

## 参加者の声

### 入広瀬高齢者講座

【市長講演会】に参加して

佐藤 昭子（穴沢）



入広瀬高齢者講座開講式が六月十一日に、生活改善センターで行われ、登録者七十名中六十六名という九十九パーセント出席率で大盛況でした。

当日は、大平市長さんがご多用の中を私どものために、「魚沼市の動向」についてわかり易くお話をしてくださいましたこと、誠に有難く勉強になりました。

特に、基幹病院建設と小出病院の今後のあり方については、私たち高齢者にとって非常に重要な問題なので、皆さん真剣に聞いていました。関連して国道十七号線浦佐バイパス建設について、国交省の凍結発表に対し様々な要望活動の結果、建設が再開できることになったと聞き安心しました。

高齢化が進むこれからは、公共交通の利便性向上、充実を行うといわれ、ぜひ実現していただきたいと願いました。

### 守門地区高麗者教室

【エコミュージアム】に参加して

大海 光平（大谷内）



七月十七日は、魚沼市の宝物発見という表題の教室に興味深々で参加させて頂きました。目的地に着くなり雨降りとなっていました。ガイドの方の説明を受けながらの散策でした。高山植物から多種の植物があり常に見ているも名前を知らない植物も多く、自分の愚かさを感じさせられた。また、散策道は車椅子用にも整備されている等多様な面でも感動を受けました。

子どもの頃から山河で育った私たちでありながら奥山に入るにつれ思わず声が出てしまうほど美しい溪谷の絶景でした。ましてや都会の人であれば、一層感動を受けると思いますが。今度は、ぜひ紅葉の季節にもう一度来てみたいと思います、エコミュージアムを後にしました。

七十余名の多数の参加者であり、関係スタッフの皆様にはたいへんご苦労をされたと思います。素晴らしい体験教室でした。

今後講演等だけでなく、屋外での教室も希望したいと思います。

## だんだんど～も

今年六月から何かの縁で小出公民館に非常勤として勤めることになりました。今まで公民館というところが具体的に何をするといいのか、正直よく理解できないまま来てしまい、恥ずかしい限りです。

▼幸い七月、第六十回県公民館大会に参加する機会に恵まれました。本大会での基調講演、事例発表が心に強く残る大会でした。▼公民館の主たる役割りに、「まなぶ」「つどう」「むすぶ」の三つがありますが、どれも必要不可欠だと思います。しかし、実際地域の要求や生活上の問題、変化の激しい現代社会に何が必要かを把握しなければ、本当の意味における学びや地域住民の生活向上は期待できないと考えるところです。▼私自身、もっと地域とのかかわりをもつよう心掛け、住民の声を大切にしながら地域に根を張った公民館活動を求めていきたいと思えます。（K・Y）

## 表紙の

様々なサークルが集まり、中央公民館で開催された第一回生涯学習体験ひろばに八十一名の参加がありました。公民館は、市民の様々な「まなび」活動がだれにでも気楽にできるような環境整備に努めます。

編集兼発行人 魚沼市中央公民館長 星野 修美